

今年の残暑は長く厳しかったですが、10月中旬頃からめっきり涼しくなり、秋の気配も一段と深まりました。1年で一番快適なシーズンを迎えたともいえます。コロナも収束とまではいきませんが、ワクチン接種も進み、全国的に感染が落ち着いてきました。



第7回区長部会を開催しました(10月9日)

<主な協議・報告事項>

- ・米里まつり当日の抽選コーナー担当の割り当てを決めたほか、前日準備や後片付けには公民館協力員や女性部役員にも協力をお願いします。
- ・大路川流域治水意見交換会（雲山地区を除く）を11月6日(土)に開催。各部落から2名の参加をお願いします。
- ・東雲山町内会から今年度の「支え愛マップ」作成の進捗状況の報告があり、春から研修会や打合せ会を重ねてきて、10月16日から具体的にマップ作成に着手するとのこと。



区長部会終了後に大路山の草刈りをしました！



区長部会終了後に頂上と中腹の2カ所に分かれ大路山の草刈りを約1時間行いました。草刈機を持って山頂まで上がるだけでも大変な労力でしたが、皆さん熱心に作業をされ、すっきり歩きやすくなりました。

また、小学校の秋のどんぐり拾いに地区ボランティアの方々が熱心に協力されていたり、以前は小学生が世話をしていた椎茸の原木もあり、いろいろな発見と共にとっても郷土愛を強く感じられた時間でした。

第2回米里かるたウォーク（越路コース）を開催しました

10月10日（日）にかるたウォーク（青少年育成協議会を中心とする実行委員会主催）を開催し、49名(17グループ)が参加されました。

当日は季節外れの真夏日で、とても暑い中を皆さん頑張って散策しました。午前9時に越路の選果場をスタートし、越路神社や範頼内室のお墓、滝相撲の行われる水神さんなど5つのチェックポイントを約1時間半かけて歩き、その後バスで空山に上がり、風車の下で鳥取市内の眺めを楽しみました。

参加者からは、同じ地区内にこんな所があるんだという声も聞かれ、今回のイベントを通して越路地区の風景や文化財、伝承などに多くの方が興味を持たれたようでした。

中学生の皆さんも企画段階から参加され、当日の運営にも積極的に携わってくれました。

また、青少年育成協議会、小・中学校の関係者、交通安全協会などの実行委員の皆さんや当日ご協力いただいたスタッフの方々には大変お世話になりました。

来年の第3回も楽しいイベントにしていきたいと思います。



↓ 5番チェックポイント (水神さん)

スタッフから水神さん伝承の説明を聞いています。



↑ 開会式

山田剛実行委員会会長から開会あいさつがありました。

周りで中学生がいろいろと世話をしてくれています。

空山散策



米里かるたウォークの活動内容は「米里まつり2021」においても紹介されました。

気を緩めることなくしっかりと感染対策を！

8月から9月にかけて爆発的に猛威を奮った新型コロナも、最近は感染者がめっきり少なくなりました。しかし安心はできません。これから寒くなるとウイルスには最適の季節となり、第6波へのリスクも格段に高まります。

感染対策は地道に辛抱強く取り組むことが必要です。公民館に来られる際も、不織布マスクの着用と入口に設置している検温、手指消毒をお忘れなく。

